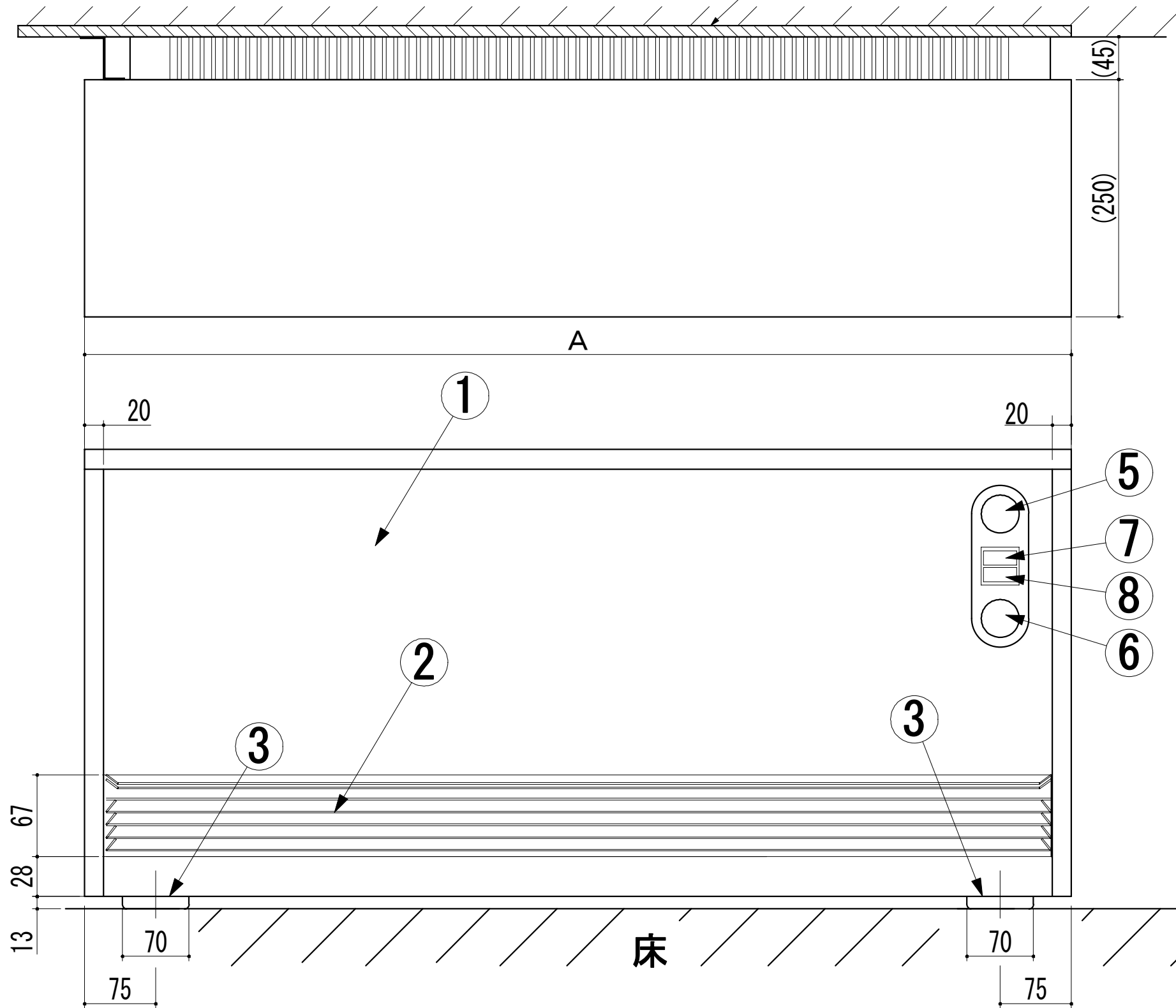


壁下地補強材

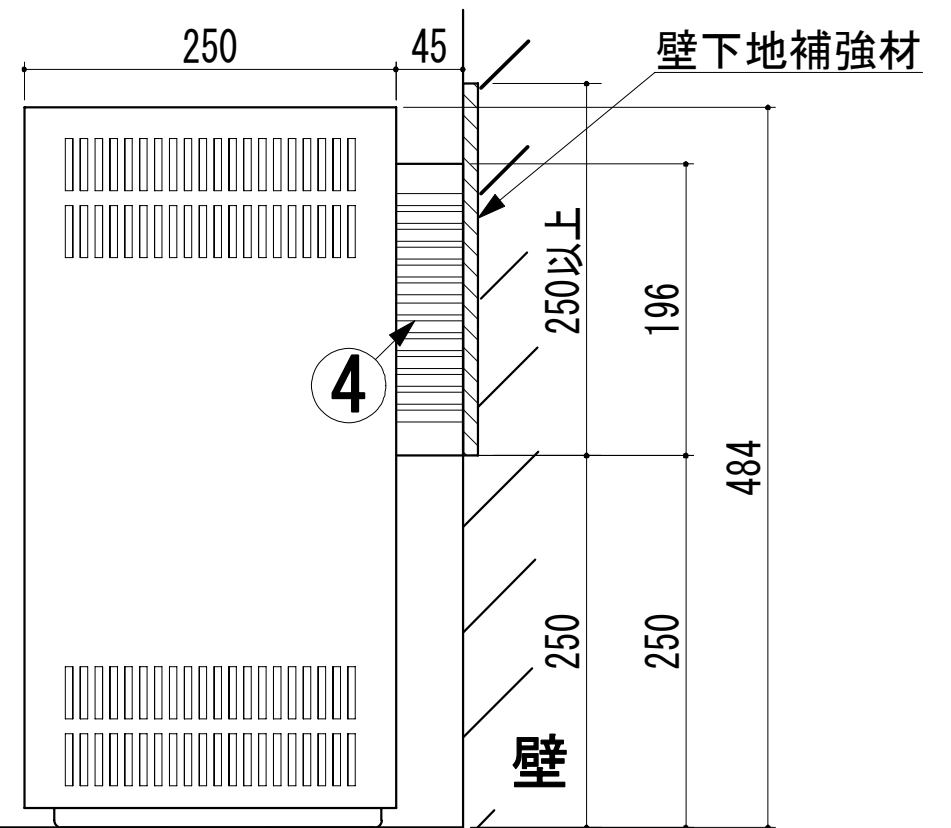


各部名称

No	名称
①	蓄熱暖房器本体
②	温風吹出口 (グリル)
③	脚
④	壁付け用スペーサー
⑤	蓄熱コントローラー
⑥	室温コントローラー
⑦	ファンスイッチ
⑧	スイッチ (未使用)

寸法表

	A
VNDi36J3	1040
VNDi50J3	1340



E	2009-06-05	仕様一覧表内最小電線太さ、設置上の注意 内容変更
D	2008-10-28	壁固定金具仕様変更、壁下地補強材寸法変更 仕様一覧 CVケーブル追加、設置上の注意 内容変更
C	2008-09-22	社名変更、ケーブル色変更 (白⇒白または緑/黄)
B	2004-02-24	電気配線図変更 (端子台9の削除)
	2001-09-28	新規作成

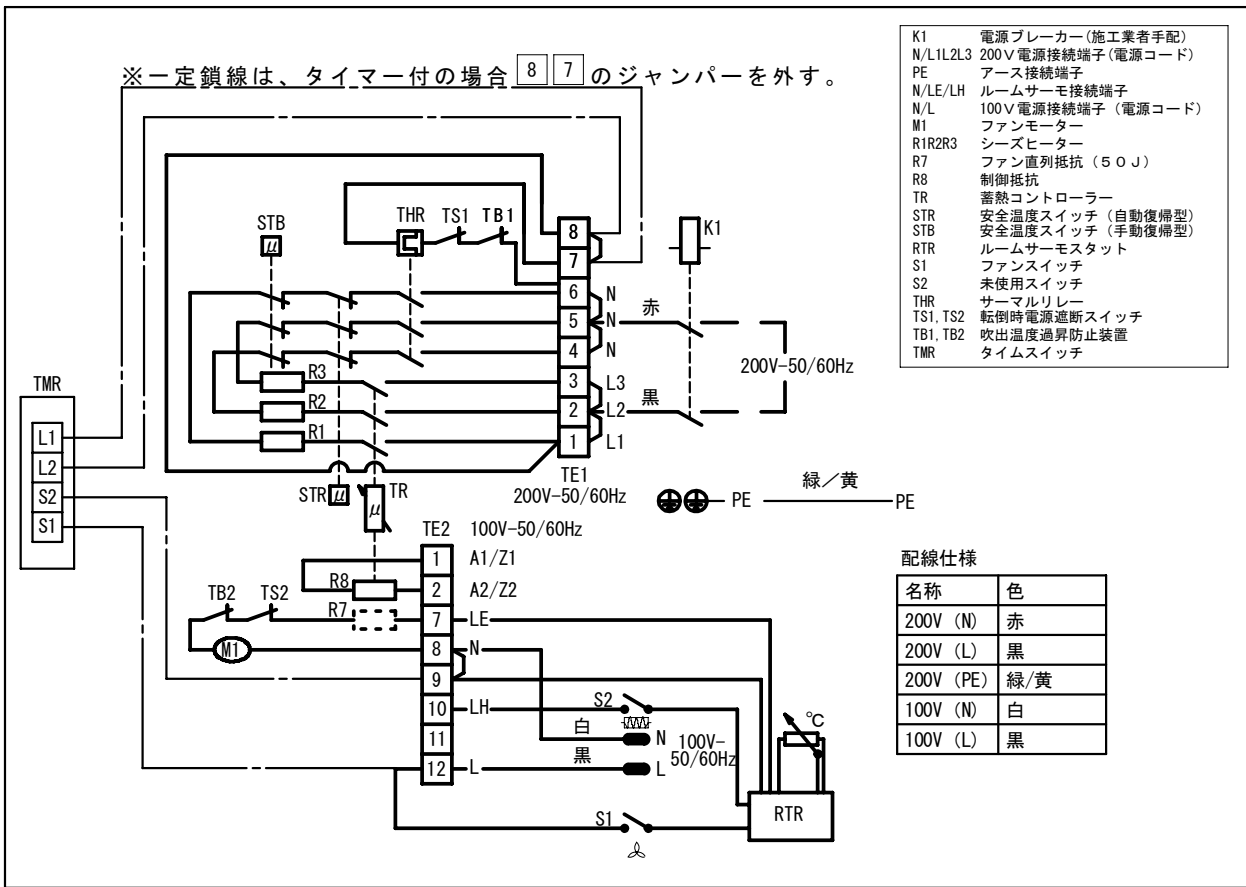
改定 年月日 内容

名称	蓄熱暖房器 温風式 VNDi-J3 シリーズ	尺度	FREE
図番	UG030004D	No	1/2

承認	確認	担当

輸入元 株式会社ディンプレックス・ジャパン

電気配線図



仕様一覧

	VNDi36J3	VNDi50J3
定格電圧	蓄熱 ; 200V ファン ; 100V	
ヒーター形式	シーズヒーター	
シーズヒーター本数	3	
定格消費電力 ; 蓄熱(kW)	3.6	5
定格消費電力 ; ファン(W)	18	28
最大蓄熱量 kWh(kcal)	28.8 (24,800)	40.0 (34,400)
有効蓄熱量 kWh(kcal)	25.9 (22,300)	36.0 (31,000)
蓄熱レンガ個数 (個)	30	42
蓄熱レンガ質量(kg)	150	210
本体質量レンガ含(kg)	191	261
外形寸法 (幅×高さ×奥行) ()内スペース含 (mm)	1040×484×250 (295)	1340×484×250 (295)
配線用遮断器の定格電流 (A)	30	40
200V分岐回路の 最小太さ (銅線)	Wケーブル	直径2.6mm (5.5mm ²)
	CVケーブル	直径3.2mm (8.0mm ²)
安全装置	安全温度スイッチ (自動復帰型) : 115℃	安全温度スイッチ (手動復帰型) : 150℃
	転倒時電源遮断スイッチ : 15°以上傾斜	吹出温度過昇防止装置

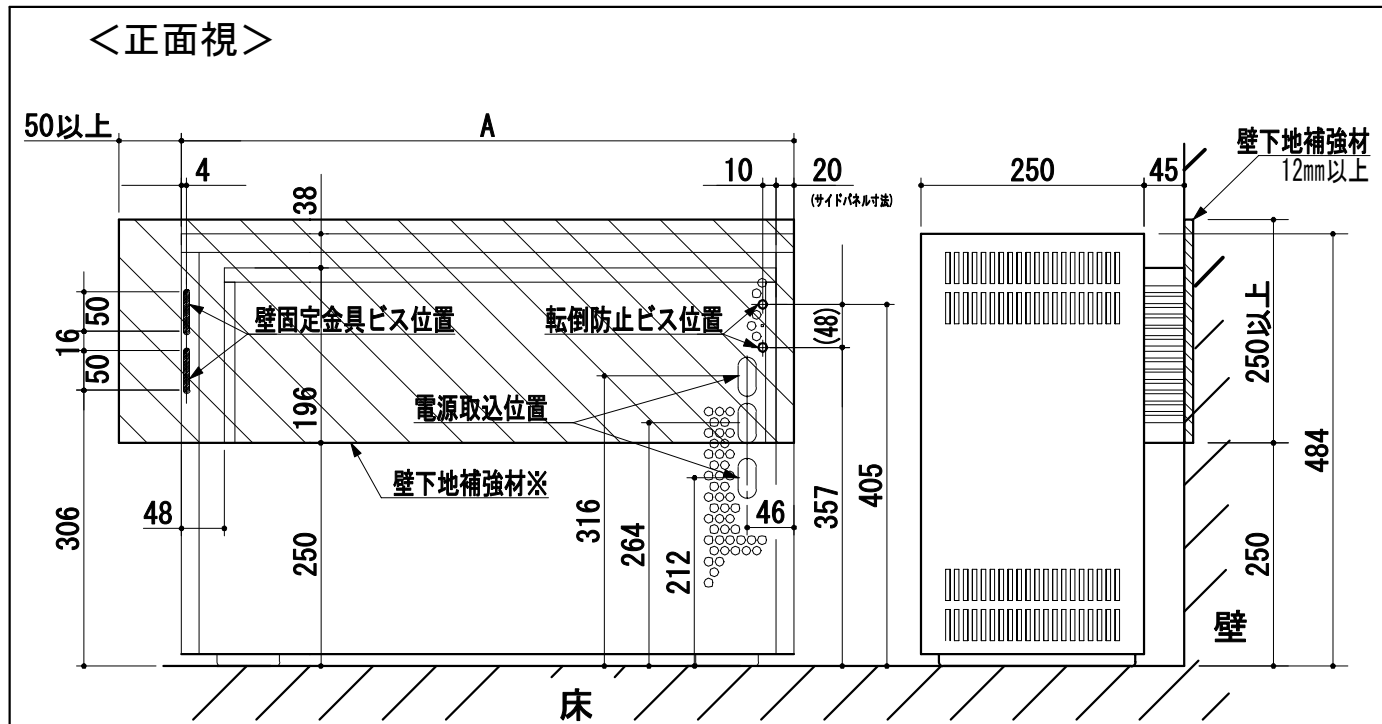
設置上の注意

- 取付作業は、専門の設置業者が行って下さい。
- 電気工事は、有資格の電気工事業者が行って下さい。
- アース工事を必ず行って下さい。(D種設置工事)
- 本ヒーターは、単相200V専用回路に接続して下さい。
- 蓄熱暖房器それぞれに単独のブレーカーを設置して下さい。
- 電源取込位置は、本体裏面右中央にあります。
- 電源ケーブルは、本体接続の耐熱ケーブルをご使用下さい。
- 電源ケーブルは、本体裏面に接触しない様に適切な長さで結線して下さい。
- ヒーター本体は、暖房器本体の重量に耐え得る強固で水平な床に設置して下さい。
- 本体床面は高温になりますので、じゅうたん・クッションフロア・畳等の上に直接設置しないで下さい。
- 木造の場合は、根太の上か、床補強材 (例：コンパネ2重貼り) の入った床面に設置して下さい。
- 離隔距離は、下表の寸法をお守り下さい。
- 離隔距離は正常に作動するために必要な最低限の寸法です。
- 周囲の仕上げ材等の変色・変形しないことを保証するものではありません。

方向	左面方向	右面方向	上面方向	背面方向	前面方向
離隔距離 (mm)	100mm以上	300mm以上* (最小値100mm)	150mm以上	45mm (壁付け用スパーサーで確保)	1000mm以上* (最小600mm)

- ※メンテナンススペースとして必要です。
- 蓄熱暖房器本体は、かなりの重量がありますので、転倒防止金具は左図の位置に確実に固定して下さい。

設置寸法



※注意：壁下地補強材は柱(間柱)等に強固に固定して下さい。
 ※注意：背面の壁材の仕上げは、準不燃クロスや石膏ボード等の不燃材をご使用下さい。

名称	蓄熱暖房器 温風式 VNDi-J3 シリーズ	尺度	FREE
図番	UG030004D	No.	2/2
輸入元 株式会社ディンプレックス・ジャパン			